

おじいちゃんのたんぼ

延岡市立西小学校 1年 甲斐 稀宝

ぼくのおじいちゃんのおうちのまえには、たんぼがあります。ぼくは、そのたんぼでいきものをとるのが好きです。そのいきものは、おたまじゃくしやゲンゴロウです。おたまじゃくしは、一ぴきいたらなんびきもいます。ゲンゴロウは、いつもすいすいおよいでいます。よるになるとかえるが、ゲロゲロないています。そのこえをきくと、ぼくは、きれいなこえだなあとおもいます。

たんぼのみずがへつてくると、おこめがぐんぐんのびていきます。みどりいろのたんぼが、きいろいろのたんぼにかわっていきます。おこめがいっぱいできると、くきがおもたそうにくねつとまがつていました。おこめができると、すずめがきておこめをたべていました。すずめたちをよくみると、おいしそうにたべているきがしました。あんまりたくさんたべていたので、ぼくたちのぶんはなくならないかなあとしんぱいになりました。

でも、ことしもおじいちゃんからしんまいがとどきました。おこめがこのっついてよかったなあとあんしんしました。ぼくは、おこめが好きなので、ときどきごはんをおかわりします。しんまいをたべると、おいしいくちのなかでとけていつてるきがします。おじいちゃんのたんぼでとれたおこめは、にほんいちだとおもいます。